

2012 年度第 1 回 理事会報告

■日時：2012 年 5 月 26 日（土） 18：00～20：30

■場所：東洋大学白山キャンパス

【会長挨拶】

明日の「定時社員総会」での審議事項等を確認するための理事会である。また、「組織・運営に関するあり方委員会」から「中間答申」が提出されたので、理事・監事からご意見を伺いたい。本日の理事会に、同委員会の山縣文治委員長・原田正樹委員にご出席いただいたので、審議事項に入る前に「中間答申」についてご説明いただく。

【開会宣言（欠席理事の確認）】

白澤会長が欠席理事を確認し、本日の理事会が成立したことを宣言。会長と杉村監事・小林監事を議事録署名人とすることを確認。（欠席：杉岡直人理事・門田光司理事）

【協議事項】

1 「組織・運営に関するあり方委員会からの中間報告について

山縣文治委員長から報告があり、理事・監事から出された主な意見は下記のとおり。

- 本学会の規模で業務執行理事を置く意味があるのかどうか。
- 業務執行理事が委員長にならないことで、委員会業務が拡散するのではないか。
- 事務局会議に理事でない事務局員(仮称)を参加させることの意味がどれほどあるのか。
- 会計処理の点検・課題等もあるので、財務担当理事は事務局会議の構成員に加える必要があるのではないか。
- フォーラムについて、地域ブロックの負担が重くなるのではないか。
- 選挙制度に関して、地域ブロック選出の代議員の枠を増枠してはどうか。地域ブロック担当理事は推薦制にしてはどうか。
- 学会連合の事務について検討しておく必要があるのではないか。

会長より、これらの意見を整理し、8月4日開催の理事会で「答申(案)」を改めて協議することとし、選挙で選出された「理事・監事候補者」及び推薦理事候補者と意見交換を重ね、最終答申を10月19日の理事会で確認したいとの提案があり、了承された。

【審議事項】

第1号議案：2011年度事業報告及び決算・監査報告について

2011年度事業報告及び決算報告を受けて監査報告があり、次の点について講評があった。

- 会費の未収金については、事務局の努力により一定の成果を上げることができた。
- 四天王寺国際仏教大学からの「日韓学術交流基金」を消化したことから、新たに国際学術交流のあり方を模索してはどうか。
- 全国大会での「広告料・出店料」の取り扱いについては、開催校の事情を踏まえながら、公正な取り扱いを行うための検討が必要である。

理事から、監査報告に記載している「使用人」表記は馴染まないのので、「事務職員」に改めてはどうかとの意見があり、総会では監事から説明することを確認した。その上で「2011年度事業報告及び決算・監査報告」を満場一致で承認し、併せて「定時社員総会」に諮ることを確認した。

第2号議案：機関誌編集関連規程・要領の一部改正について

会費を納入している正会員であれば投稿できるよう、「機関誌編集規程」及び「機関誌投稿要領」の一部を改正することを満場一致で承認した。

第3号議案：「広報委員会ワーキング」設置について

社会学系コンソーシアムが2014年4月横浜で開催予定の「世界社会学会議」で、日本の学会活動を英文で紹介することになったので、本学会は、これに対して、英文作成のワーキングを設置し対応したい。また、「広報委員会」のもとにテンポラリーな組織として「ワ

ーキング」を設置し、学会の英文ホームページ作成に向けた作業をしてもらうこととし、メンバーは、委員長に白澤政和会長、副委員長に湯澤直美広報委員長、委員に坪洋一会員、加山弾会員、志村健一会員、和気純子会員で構成したい、との提案があり、満場一致で承認した。

第4号議案：2012年度事業計画及び当初予算について

事業計画について、昨年12月の理事会で各種委員会及び地域ブロックからの事業計画概要を諮り、その概要に沿って事業計画を立案することを了承していただき、運営委員会で整理したこと、予算については、決算が確定したため3月の理事会で承認された「概算予算」の一部を修正した、との提案趣旨説明があり、満場一致で承認した。承認された「事業計画」と「当初予算」を「定時社員総会」に諮ることも確認した。

第5号議案：会員入会審査について

94名の入会を満場一致で承認した。

【協議事項】

協議事項 2. 中国社会福祉専門委員会大会への参加について

2012年7月14日から中国寧夏省銀川市で開催される「2012年度中国社会福祉専門委員会大会」に白澤会長、野口国際学術交流委員長、沈国際学術交流委員、通訳として羅佳会員を派遣することを満場一致で承認した。また、今回の中国訪問経費は当初予算に計上していないので、補正予算で措置すること、秋季大会の「国際学術交流シンポジウム」経費と併せて具体的な事業執行計画を7月10日までに提示してもらうことになった。

協議事項 3. 2012年度「地域ブロック事業助成金」について

5月1日現在の会員数で算出した助成金を6月1日に各地域ブロック通帳に振り込む。

【報告事項】

1. 第60回春季大会について：現在の参加申込者は153名。
2. 日本社会福祉学会フォーラムについて：第8回フォーラムのアンケート結果、第9回フォーラムの内容について報告。
3. 2012年度韓国社会福祉学会春季大会報告について：派遣者等について報告。
4. 全国大会における「広告料・出店料」の取扱いについて：会長と総務担当理事・財務担当理事が会計士等と相談し、取り扱いについて整理することを会長が提案し、了承した。本件に関連して次期開催校の牧里毎治理事から要望が出された。
5. 丸善出版「社会福祉学事典」刊行について：進捗情報について報告。
6. ミネルヴァ書房「講座 社会福祉学」出版企画について：次期理事会に引き継ぐこととなった。
7. その他

第62回秋季大会開催校として早稲田大学に依頼状を送付したことが報告された。